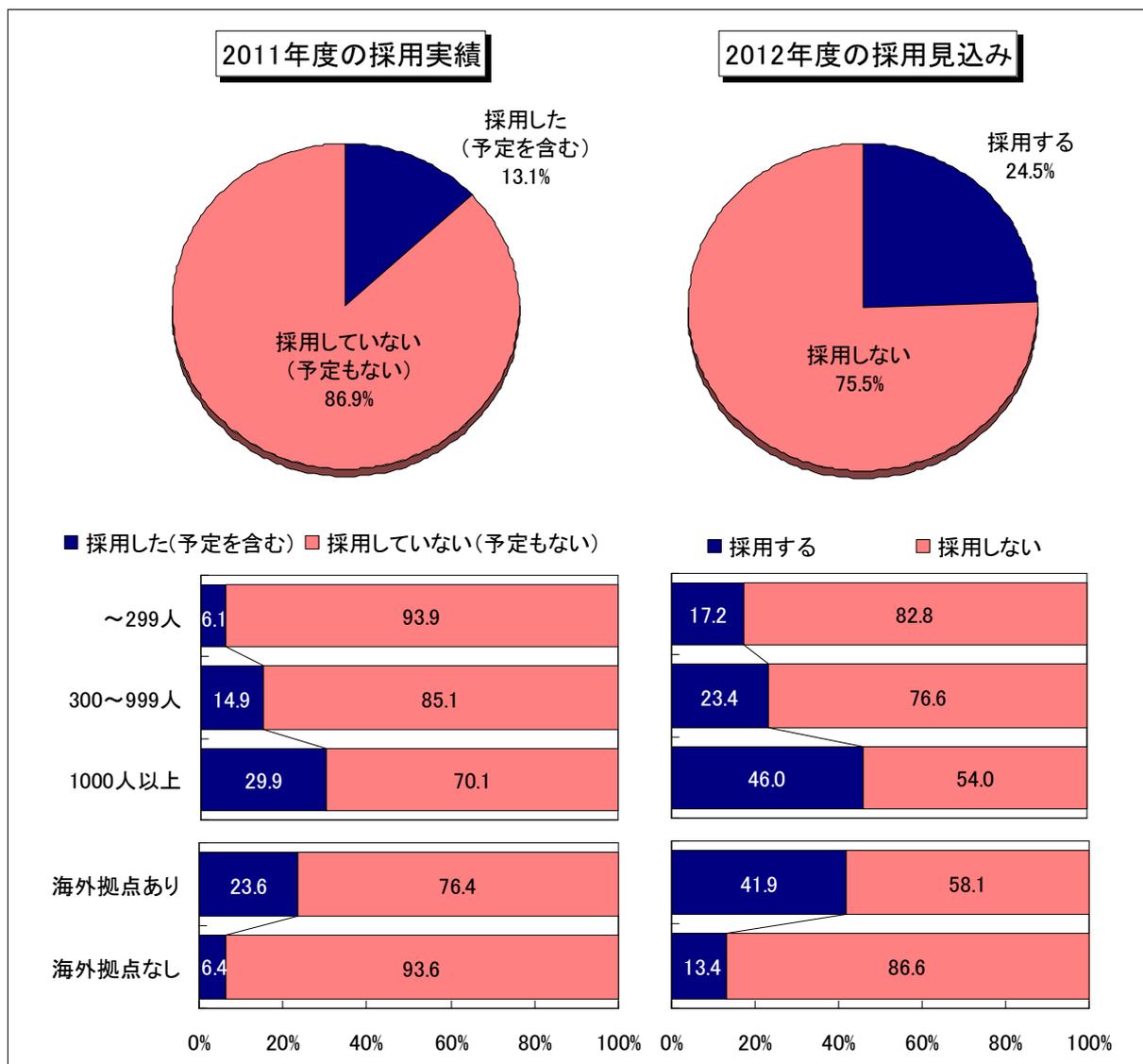


# 「外国人留学生の採用に関する企業調査」アンケート結果

＜2011年8月調査＞

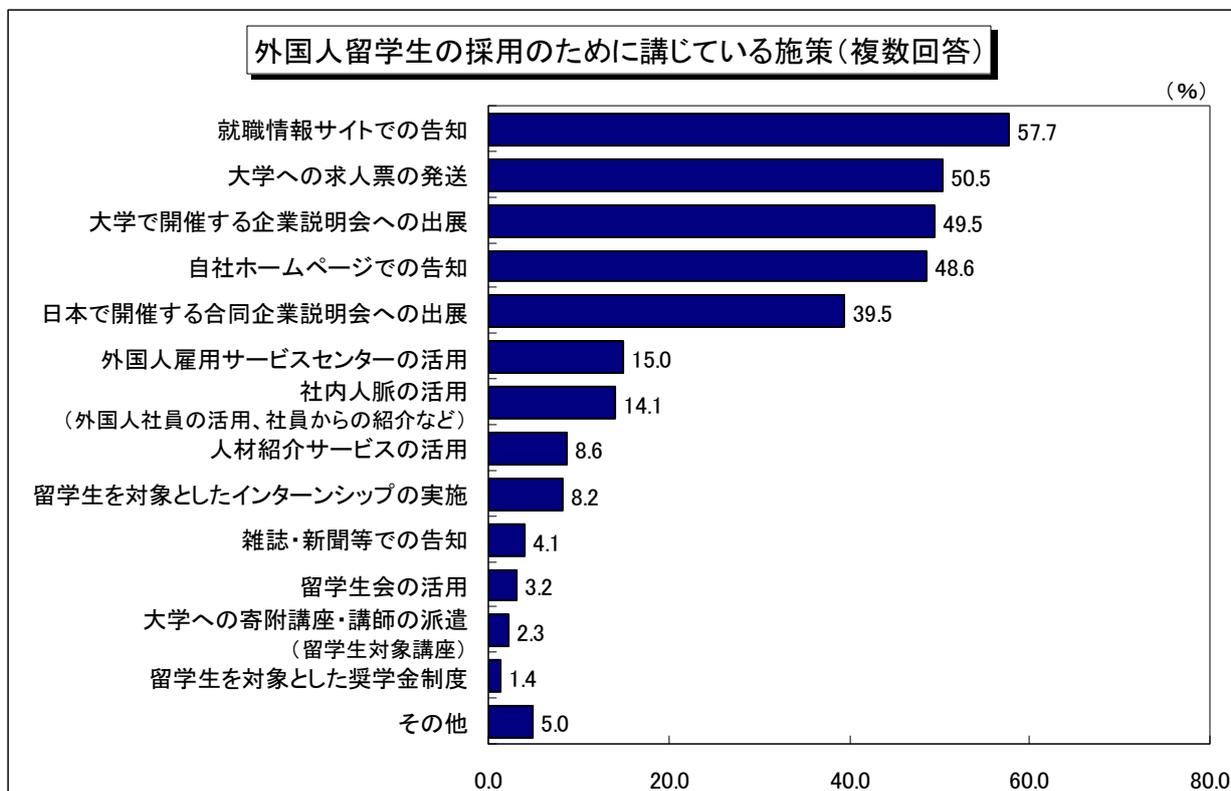
## 1. 外国人留学生の採用状況

2011年度（2011年4月～2012年3月入社）に外国人留学生を「採用した」企業は、予定を含め全体の13.1%。2012年度（2012年4月～2013年3月入社）の見込みについては、「採用する」企業が24.5%で、ほぼ4分の1に達する。従業員規模別でも2012年度の採用見込みは、すべての規模で2011年度の採用実績を大きく上回り、特に1000人以上の大手企業では46.0%と半数に迫る勢いだ。また海外拠点の有無別では、海外拠点を持つ企業が2011年度の23.6%から2012年度は41.9%へ、海外拠点を持たない企業でも6.4%から13.4%へと「採用する」割合を高めており、外国人留学生採用の裾野は拡大傾向にある。



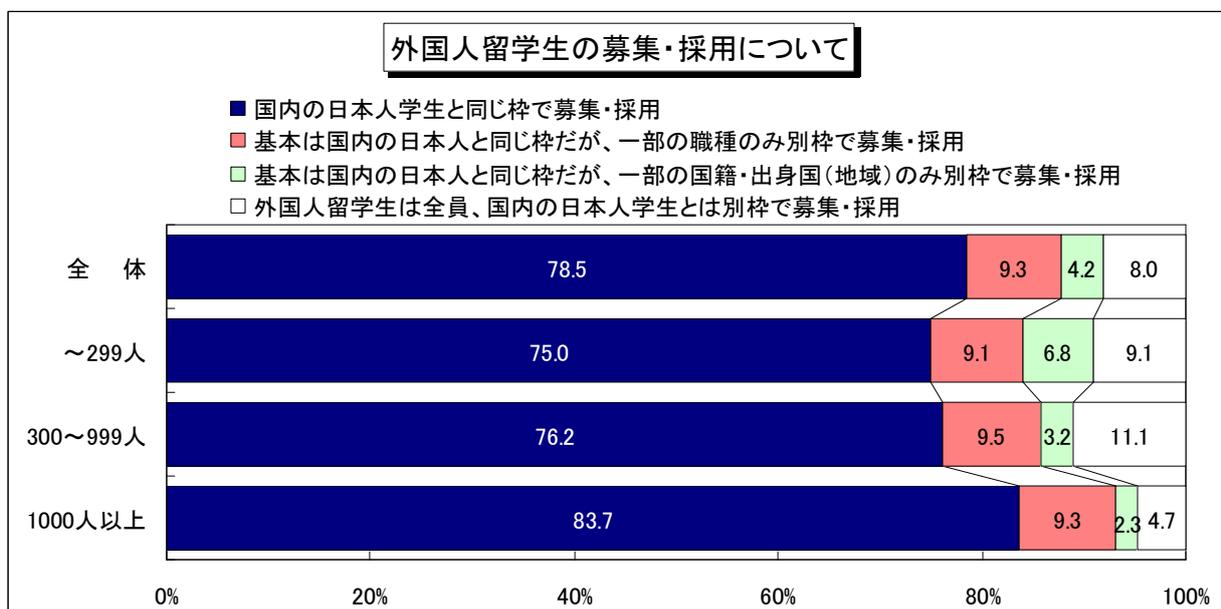
## 2. 外国人留学生の採用のために講じている施策

外国人留学生の採用のために講じている施策で、最も多かったのは「就職情報サイトでの告知」で57.7%。2位、3位には、「大学への求人票の発送」50.5%、「大学で開催する企業説明会への出展」49.5%が選ばれた。大学との関係の中で、外国人留学生を採用しようという企業の思惑がうかがえる。



## 3. 外国人留学生の募集・採用枠

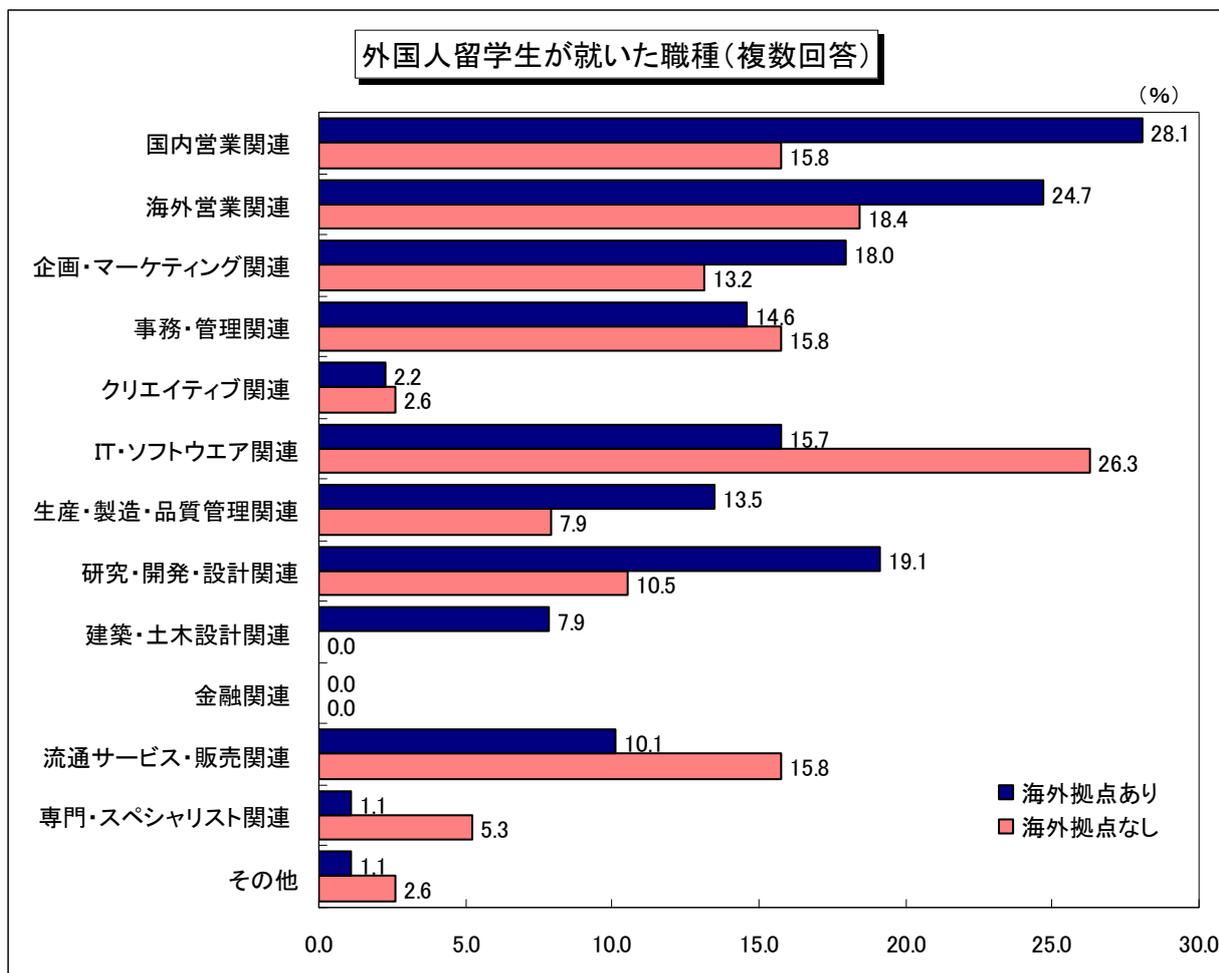
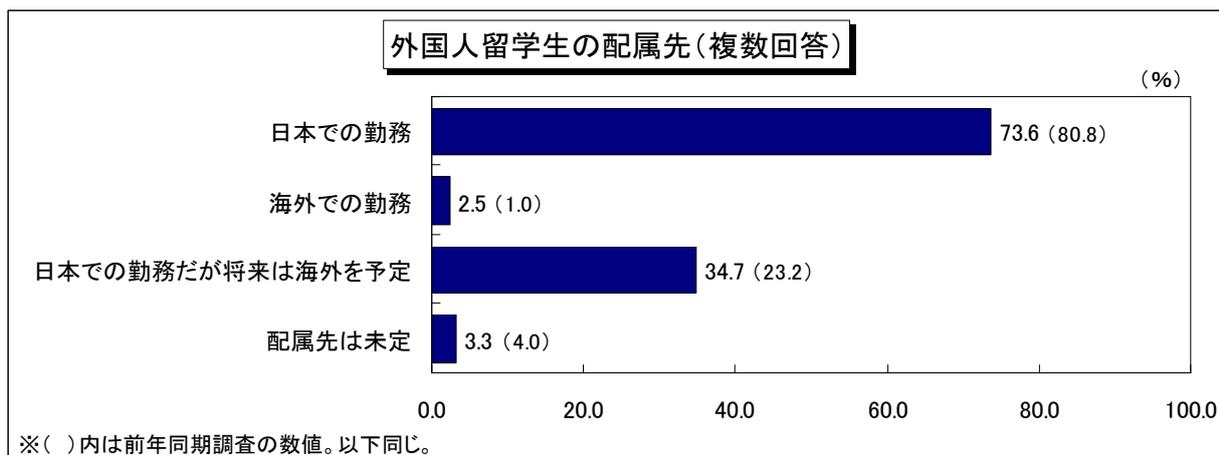
外国人留学生を、「国内の日本人学生と同じ枠で募集・採用」している企業は全体の78.5%で、大多数を占めた。従業員規模が大きくなるほど、その傾向は強まる。一方、「国内の日本人学生とは別枠で募集・採用」している企業は全体で8.0%。大手ではわずかに4.7%にとどまる結果となった。



#### 4. 外国人留学生の配属先と、就いた職種

2011年度に新卒採用した外国人留学生の配属先について、「日本での勤務」と回答した企業は、前年から7.2ポイント減少して73.6%。一方、「日本での勤務だが将来は海外を予定」という企業は11.5ポイント増加して34.7%となった。大半の企業が当初の配属先として日本国内を考えている点は前年同様だが、外国人社員の活躍の場は、日本国内から海外へと広がりつつある。

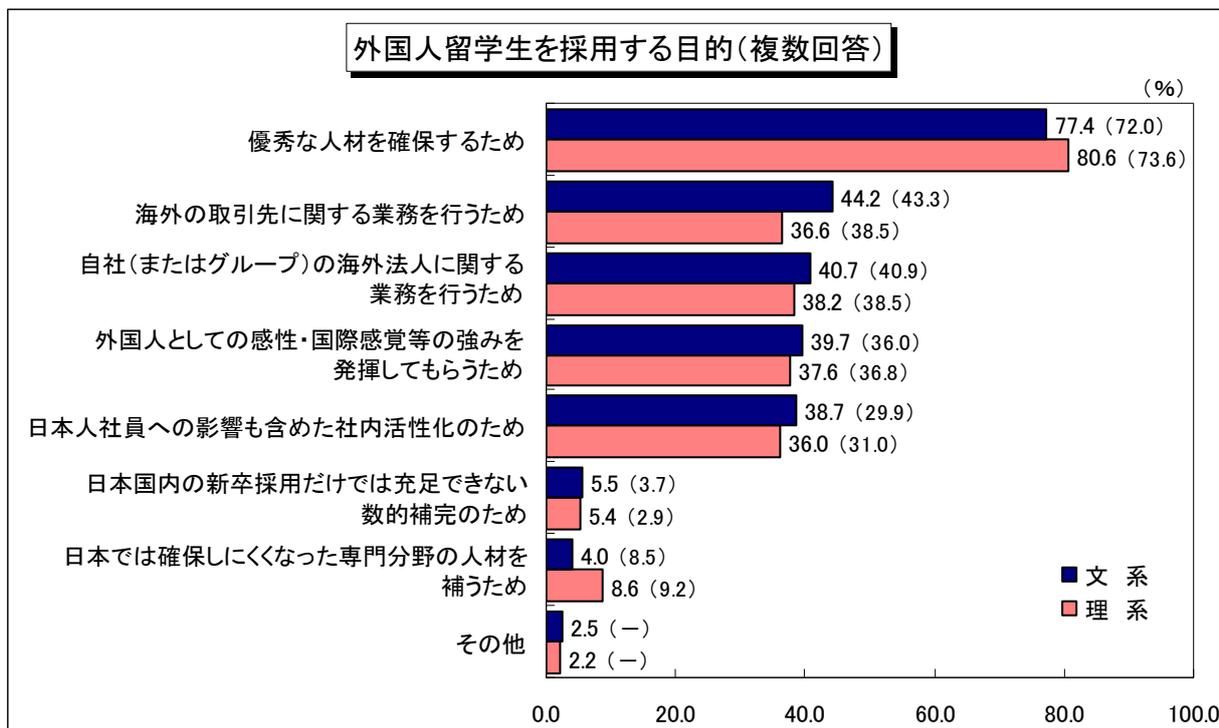
外国人留学生が就いた職種を海外拠点の有無別にみると、拠点を持つ企業では、「国内営業関連」が最多で28.1%。以下、「海外営業関連」24.7%、「研究・開発・設計関連」19.1%と続く。拠点を持たない企業では、「IT・ソフトウェア関連」が最も多く、26.3%となった。



### 5. 外国人留学生を採用する目的と、求める資質

外国人留学生を採用する目的に文系・理系による違いはほとんどなく、いずれも「優秀な人材を確保するため」が8割前後となった。また、「日本人社員への影響も含めた社内活性化のため」が、文系・理系ともに前年を5ポイント以上上回っているのが目を引く。『海外で頑張る意欲、貪欲に技術を習得しようとする姿勢は我々も学ぶべき。日本人社員への刺激になるので、機会があれば採用していきたい』（鉄鋼・非鉄・金属製品）といったように、いわゆる「スパイス人材」としての影響力に期待する声が多い。

外国人留学生に求める資質については、文系・理系ともに「コミュニケーション能力」が1位、同じく2位に「日本語力」が選ばれた。3位は文系が「バイタリティー」、理系が「専門知識」となっている。

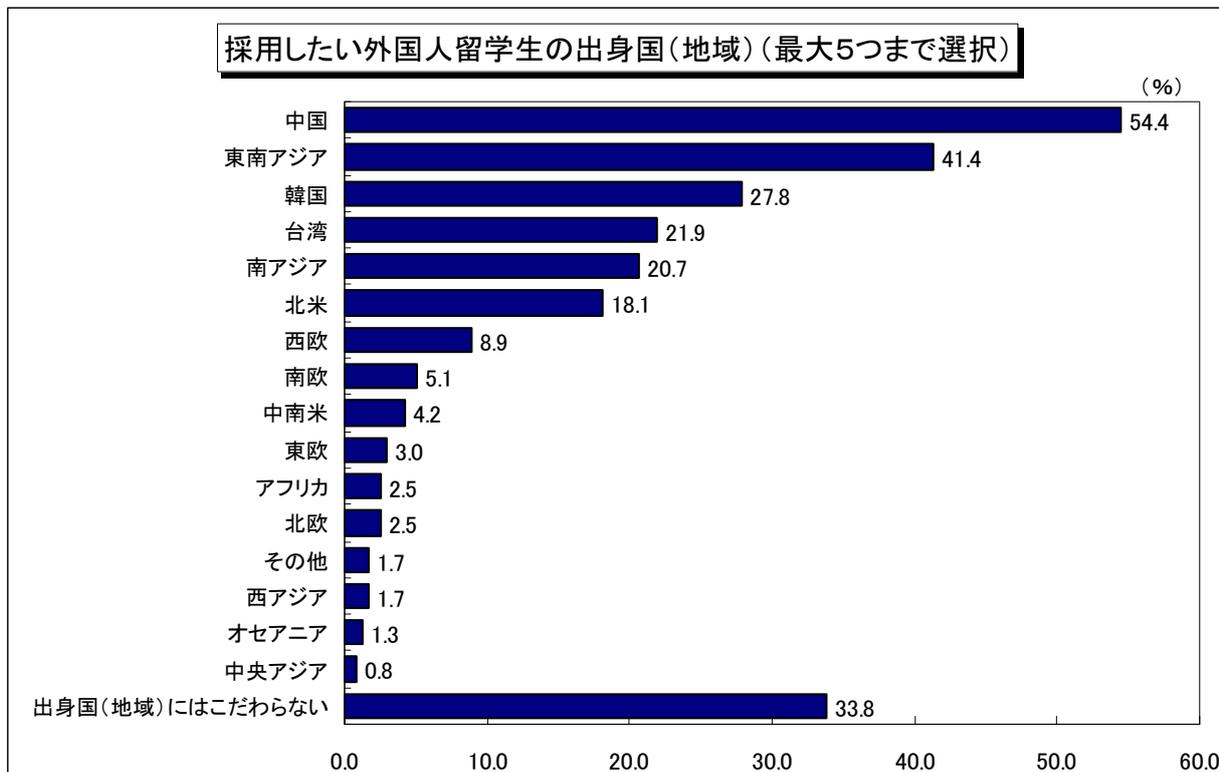


**外国人留学生に求める資質 (上位3つまで選択)**

文 系			理 系		
1	コミュニケーション能力	55.2	1	コミュニケーション能力	47.3
2	日本語力	43.8	2	日本語力	44.6
3	バイタリティー	34.8	3	専門知識	36.0
4	日本語以外の語学力	23.9	4	バイタリティー	30.6
5	基礎学力	19.9	5	基礎学力	23.1
6	協調性	18.4	6	日本語以外の語学力	19.9
7	熱意	12.9	7	熱意	16.7
	発想の豊かさ	12.9	8	協調性	13.4
9	専門知識	9.5	9	発想の豊かさ	12.4
10	リーダーシップ	8.5	10	リーダーシップ	6.5
				信頼性	6.5

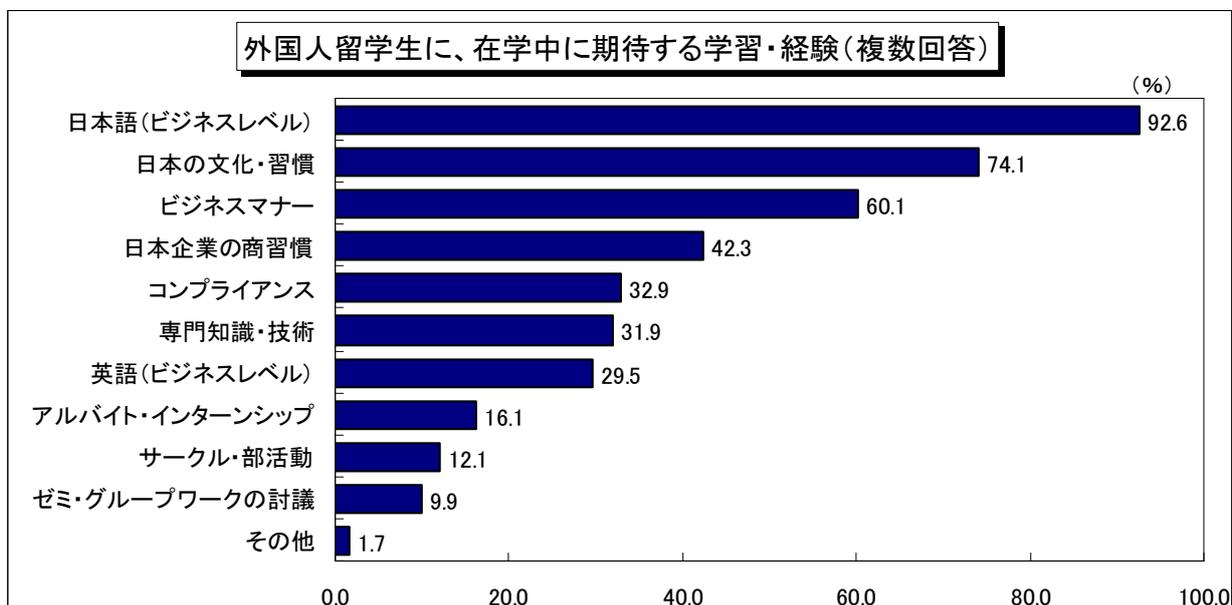
### 6. 採用したい外国人留学生の出身国（地域）

採用したい外国人留学生の出身国（地域）は、中国の54.4%を筆頭に、東南アジア41.4%、韓国27.8%、台湾21.9%、南アジア20.7%と、5位までを経済発展著しいアジア圏が独占。企業の海外戦略を色濃く反映している。その一方で、「出身国（地域）にはこだわらない」企業も33.8%と3社に1社以上にのぼった。



### 7. 在学中に期待する学習・経験

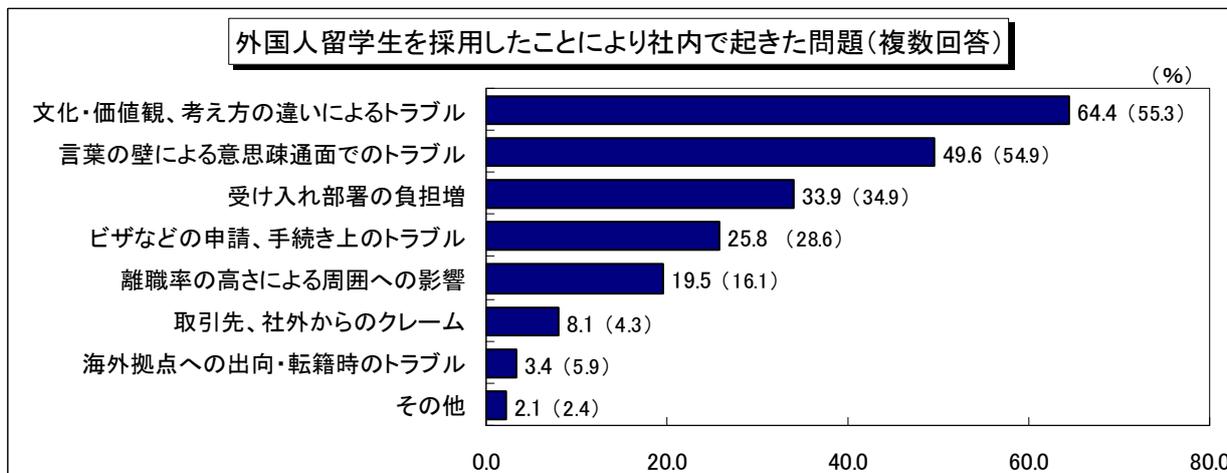
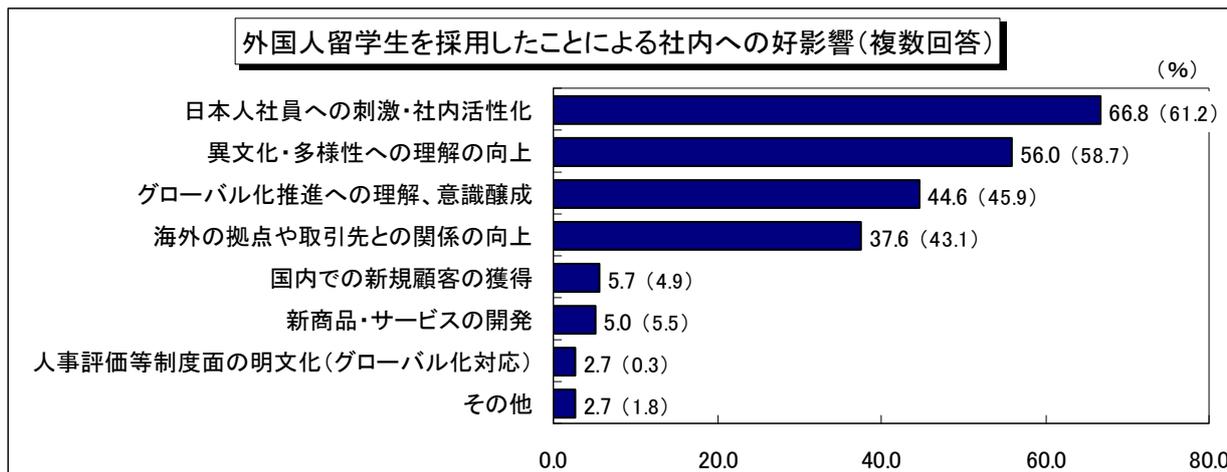
大学等の在学中に、どのような学習をし、どのような経験を積んでおいて欲しいかを聞いた。最も多かったのは、ビジネスレベルの「日本語」で92.6%。次いで、「日本の文化・習慣」74.1%、「ビジネスマナー」60.1%が選ばれた。



### 8. 外国人留学生を採用したことによる社内への影響

これまで外国人留学生を採用したことがある企業に、採用したことによる社内への「好影響」を聞いたところ、「日本人社員への刺激・社内活性化」が、前年から5.6ポイント増え66.8%で、最も多くの企業に選ばれた。

一方、外国人留学生を採用することにより社内で起きた「問題」では、「文化・価値観、考え方の違いによるトラブル」が前年から9.1ポイント増えて64.4%に達している。トラブルを抱える企業の割合は増えているが、外国人留学生の採用がより進んだ結果と捉えることもできそうだ。



#### 【Voice】——外国人留学生の採用について

- 外国人留学生だからといって特別な対応はせず、日本人学生と同様の枠内で、学力・人物を評価しています。日本語によるコミュニケーション能力が一定レベルに達していることが必須。<情報処理・ソフトウェア>
- 日本国内で一定期間ビジネスを学ばせ、将来、母国でのビジネス展開につなげてもらいたい。<専門商社>
- 外国人留学生の入社にあたっては、ご家族の意思も大きく影響していると思います。この先グローバル化が進み、外国人留学生の採用が定着してくれば、離職率の問題も少しは落ち着くのでは。<素材・化学>

#### 《調査概要》

調査対象 : 全国の主要企業 16,929社  
 調査時期 : 2011年8月18日～26日  
 調査方法 : インターネット調査法  
 回答社数 : 968社  
 調査機関 : 株式会社ディスコ キャリアリサーチ

◆本資料に関するお問い合わせ先 : 03-5804-5567 / 株式会社ディスコ キャリアリサーチ